

<目的> 環境問題、高齢化社会問題をはじめ様々な生活問題が生じる中、時代の流れに対応して家政学の新たな展開が求められるようになった。本研究では、この分野の基礎的・根源的な概念であるヒューマン・エコロジーの考え方を展開させ、今後わが国におけるこの分野のありかた、および新たな展開の可能性とその有用性について考察していくこととする。

<方法> *The Scottsdale Meeting : Positioning the Profession for the 21st Century*, AHEA, 1994と、H.M.Brown の *Philosophical Studies of Home Economics in the United States, Vol. I: Basic Ideas by Which Home Economists Understand Themselves*, Michigan State University, 1993 を資料の中心としてこの分野の新たな展開についての概念枠組みを再確認し、さらにわが国の家政学への導入とかがかわらせて検討していく。

<結果> 文献研究により、ヒューマン・エコロジーの新展開として、transdisciplinaryな学問として論じられるホリスティックなアプローチが求められることが確認された。わが国においても、家庭を取り巻く社会システムの中で生じる様々な問題を解決するためには、これらホリスティックな考え方・方法を用いた家政学などが展開されていくことは肝要であると思われる。